

令和8年第2回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日	時	人 数
令和8年6月17日(水)	午前10時～	5人(1番から5番まで)
令和8年6月18日(木)	午前10時～	5人(6番から10番まで)

質問 順位	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	10	日 本 共 産 党 多 賀 城 市 議 団	中 田 定 行	2	一問一答
2番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 巳	3	一問一答
3番	3	多 賀 城 の 未 来 を 照 ら す 会	池 田 純	4	一問一答
4番	4	自 由 民 主 党 多 賀 城 市 議 団	大 内 裕 太	7	一問一答
5番	12	公 明 党 多 賀 城 市 議 団	齋 藤 裕 子	9	一問一答
6番	8	自 由 民 主 党 多 賀 城 市 議 団	佐 藤 雅 博	11	一問一答
7番	2	日 本 共 産 党 多 賀 城 市 議 団	伊 藤 真 弓	12	一問一答
8番	13	公 明 党 多 賀 城 市 議 団	根 本 朝 栄	13	一問一答
9番	11	公 明 党 多 賀 城 市 議 団	阿 部 正 幸	14	一問一答
10番	7	自 由 民 主 党 多 賀 城 市 議 団	千 葉 文 昭	15	一問一答

計 10 名
 総括質問方式： 0 名
 一問一答方式： 10 名

質問順 1番	受付月日	6. 8	通告者	10番 種別	中田定行 一問一答
<p>1 原谷地川の改修計画について</p> <p>原谷地川河川改修計画については令和8年1月15日開催の全員協議会で、これまでの調査結果を含めて整備方針が示されました。これを踏まえて、以下の質問を行います。</p> <p>(1) バックウォーター対策としての樋門躯体修繕、河積阻害対策としての浚渫については、令和11年度までに行うとしていますが、進捗状況について伺います。また財源の見通しについて伺います。</p> <p>(2) 優先順位3位に位置付けられている流下能力不足対策の河川改修として、ポンプ場、調整池、堤防嵩上げ、川幅拡幅などが挙げられています。それぞれの内容と概算事業費がどのようになっているのか伺います。また、流入量を減らす対策案も示されていますが、対応状況について伺います。</p> <p>(3) 現地調査を重ねて考えたことですが、原谷地川の南側、県道泉塩釜線までの水田を緊急時の遊水地にすることも検討してはいかがでしょうか。</p> <p>(4) 昭和29年から始まった当初整備の掘削工事の工事費負担割合が利府町7割であったことを見れば、改修工事にも利府町が主体的にかかわることが必要だと思えます。宮城県もかわりが重要になってくると思えます。これまでの砂押川中流部流域治水部会における対応について伺います。</p> <p>2 市営住宅の長寿命化計画について</p> <p>長寿命化計画に従って高崎市営住宅の用途廃止に向けて説明会等が開かれています。以下について質問します。</p> <p>(1) 高崎住宅に関して、これまでの説明会の開催状況とそこで出た意見等について伺います。また、今後の計画について伺います。</p> <p>(2) 住宅セーフティネット制度は、住宅確保要配慮者が安心して生活ができる住まいの支援を求めています。住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法）第53条は、「既存公的賃貸住宅の有効活用を図り、公的賃貸住宅の適切な供給促進に努める」と公営住宅等の位置づけを規定しています。</p> <p>借家世帯の居住実態を知るため県が使った推計プログラムで計算すると、多賀城市で特定のニーズを有する要支援世帯数の推計で2025年度は849世帯あるとの結果です。このことから市営住宅の用途廃止はやめて、今後も増え続ける要支援者のために公営住宅を活用していくべきだと考えますが市長の見解を伺います。</p> <p>3 物価高騰対策について</p> <p>物価高騰対策でみやぎアプリを使っての3,000ポイントを付与する事業が行われました。以下について質問します</p>					

(1) 4月で受付締め切り、10月までのポイント使用期間となっておりますが、受付実績について件数、市民マイナンバーカード保持者に対する割合、市民数に対する割合はいくらかを伺います。問い合わせや苦情についてはどうでしたか併せて伺います。

また、現時点でのポイント使用実態はどうなっていますか。

(2) 今回の事業はマイナンバーカードの普及に役立てるという目的もあったと思いますが、物価高騰対策にはなじまない不公正な制度ではありませんか。

(3) 国ではマイナンバーカードの保有率向上に躍起になっており、強制的に取得させるような動きも見えますが、取得はあくまでも任意であり、強制すべきではないと考えますが市長の見解を伺います。

質問順 2番	受付月日	6. 8	通告者	16番 種別	昌浦泰巳 一問一答
<p>1 小・中でのギャンブル依存症対策について</p> <p>(1) 今までに本市の小・中学生でギャンブル依存症発症の事例はお有りか。</p> <p>(2) 今までに児童・生徒にギャンブル依存症防止の指導をしましたか。</p> <p>(3) 児童・生徒の保護者にギャンブル依存症防止の対策等呼びかけましたか。</p> <p>(4) 今後、継続的に児童・生徒にギャンブル依存症防止を呼びかけしますか。</p> <p>2 ハクビシンの駆除について</p> <p>(1) ハクビシンの対策や危険性を市民にどのように周知していますか。</p> <p>(2) 市は積極的にハクビシンの駆除に乗り出すべきではないでしょうか。</p> <p>(3) 市はハクビシンの駆除に関する費用の補助をすべきと思いますが、市長のお考えを伺います。</p>					

質問順 3番	受付月日	6. 8	通告者	3番 種別	池田純 一問一答
<p>1 官民連携の推進について</p> <p>(1) 本市では、20の民間企業等と包括連携協定を締結しているが、相手方の選定方針について伺う。また、包括連携協定の枠組みを活用した共同研究や連携事業を積極的に推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 県内初の Park-PFI（公募設置管理制度）により、令和8年3月14日にオープンした中央公園スケートパーク（TAGAJI CENTRAL PARK）の運営状況について伺う。また、スケートボード大会の誘致や地場製品の販売会の開催など、更なる賑わい創出と地域活性化に向けた取り組みを進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 令和8年3月に改定された「多賀城市水道事業経営戦略」及び「多賀城市下水道事業経営戦略」において、ウォーターPPP導入や包括委託の統合の検討を行うことが記載されているが、具体的な内容について伺う。</p> <p>2 きょうだいの同一保育施設への入所について</p> <p>(1) 保育施設利用世帯がきょうだいで同一の保育施設を希望する場合であっても、利用調整の結果、別々の保育施設に入所せざるを得ないケースがある。その場合、送迎時間が増えることで保護者の負担が大きくなると思う。きょうだいで同一の保育施設に入所できるよう、利用調整基準を改正すべきと考えるがどうか。</p> <p>3 文化観光の推進について</p> <p>(1) 令和7年に多賀城南門、多賀城跡ガイダンス施設、宮城オルレ多賀城コースが整備されたことから、今後の本市の文化観光の推進については、教育旅行の誘致及び受入体制の整備が重要と考えるがどうか。</p>					

質問順 4番	受付月日	6. 9	通告者	4番 種別	大内裕太 一問一答
<p>1 効果的な事業の構築について</p> <p>将来を見据え限られた行財政経営資源の「選択と集中」を推し進める事業の構築・取捨選択をするには、事業の検証が重要であり、単一事業の検証から他事業の効果も踏まえた総合的な検証が必要である。また、事業効果向上を図るため以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 単一事業ごとに副次的な目的・効果の視点を取り入れてはいかがか。また、第七次多賀城市総合計画に向けて行政評価システムの在り方をはじめ、副次的目的・効果の項目導入を検討してはいかがか。</p> <p>(2) 民間事業者とさらなる連携を図ってはいかがか。</p> <p>2 自治振興交付金(町内会等補助)の拡充について</p> <p>年々町内会等が担う役割は重要度が増すとともに多岐に渡り、地域の実情に応じた町内会等の運営が求められることから以下のとおりお伺いします。</p> <p>(1) インセンティブの導入。</p> <p>先進事例等に取り組む町内会等に対してインセンティブをつけるなど町内会等の自主性と創意工夫を尊重できる制度としてはいかがか。</p> <p>(2) 地域の実情に即して、事業選択可能な制度としてはいかがか。</p> <p>3 部活動地域展開運用に向けて</p> <p>令和9年度中に運用開始となる部活動地域展開について、より実効性のある仕組みづくりが求められるため、以下のとおりお伺いします。</p> <p>(1) 現況と運用に向けたスケジュールについてお伺いします。</p> <p>(2) 受入団体への支援について</p> <p>① 受入候補団体への説明・ヒアリング状況についてお伺いします。</p> <p>② 受入団体の基盤強化を図るため、地域クラブ設立支援等実施してはいかがか。</p> <p>③ 運用後の受入団体への支援は検討・想定されているかお伺いします。</p>					

質問順 5番	受付月日 6. 9	通告者 12番 種別	齋藤裕子 一問一答
-----------	--------------	------------------	--------------

1 地域猫活動(TNR)の推進について

近年、飼い主のいない猫に関する苦情や相談は全国的な課題となっております。猫による糞尿被害や鳴き声など、生活環境への影響を訴える声がある一方で、不妊去勢手術や適切な管理によって繁殖を防ぎ、地域全体で共生を図ろうとする「地域猫活動」も広がっています。宮城県では公益社団法人宮城県獣医師会と連携し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成制度を実施しております。

本市の飼い主がいない地域猫の対策について以下の点について伺います。

- (1) 地域猫問題の取り組みについて
- (2) TNR（捕獲・不妊去勢・元の場所へ戻す）活動の理解促進について。
- (3) 宮城県の不妊去勢手術補助制度の周知と本市独自の補助制度創設について
- (4) 地域猫活動団体や個人ボランティアとの連携について。
- (5) 地域猫ガイドラインを策定し明確化を図る考えについて。

2 発達性ディスレクシア（読み書きに困難を抱える）の支援について

ディスレクシアは読み書きの学習に特異な困難を示す発達障害の一つです。

現在の研究では、ディスレクシアは脳の言語処理ネットワークの機能特性の違いに関連しているとされています。国内では人口の約7%存在しているとされており、早期発見と適切な支援の重要性が広く認識されております。特に読み書きに困難を抱える児童生徒は、学習意欲や自己肯定感の低下につながるものが指摘されています。周りの人が適切なサポートをすることで困難を軽減することが重要と考えることから以下3点本市の取り組みをお伺いします。

- (1) 学校教育現場での実態把握や、教職員等の研修実施など支援の取り組みについて。
- (2) タブレット端末機器の活用や、その子に合わせた教材などの活用について。
- (3) 学習開始段階で顕在化することから、早期に支援することが極めて重要です。小学校入学前における早期発見の重要性について。

3 誰もが安心して利用出来る公共施設環境整備について

近年では、女性トイレにデジタルサイネージに表示されるQRコードをスマートフォンで読み取る事で生理用品を無償で受け取る仕組みの専用機器を導入する企業や自治体が増えていきます。女性にとって生理用品は日常生活を送るうえで欠かすことのできない衛生用品であり、外出先で突然必要になることもあります。そのような女性特有の健康課題に配慮した環境を整えることは、ジェンダーギャップ(男女格差)の解消や、市民サービスの向上につながるものと考えます。

本市の誰もが安心して利用出来る公共施設の環境整備に、生理用品の無償提供サービス専用機器の導入の考えを伺います。

質問順 6番	受付月日	6. 5	通告者	8番 種別	佐藤 雅博 一問一答
<p>1 多賀城セントラルパークのオープン状況について</p> <p>(1) 東北随一の文化交流拠点にすべく全国屈指の複合施設多賀城セントラルパークがオープンしたと理解している。これまでのスケートボードパークの運営状況について伺う。</p> <p>(2) 公園内はスケートボードにとどまらず、遊戯エリア、ウォーキングコース、腹筋ベンチ、アスレチック、ボールランポリン、ミストシャワーなどの多様な世代が利用できる機能と地域住民が日常的に集い滞在でき、防災機能も備えた安心拠点です。これまでの利用状況について伺う。</p> <p>(3) スクール、大会、イベント等を通じた活用について、企画中のものはありますか。</p> <p>(4) 本事業は、宮城県内で初めての公募設置制度（park-PFI）と指定管理者制度を組み合わせた公園運営が行われている。社会や利用者のニーズに柔軟に対応しながら公園の価値を高め続け持続可能なあり方を示す運営モデルにしていかなければならないと思う。セントラルパークと周辺一帯に掛ける思いについて伺う。</p>					

質問順 7番	受付月日	6. 8	通 告 者	2番 種 別	伊 藤 真 弓 一問一答
<p>1 水道の「ウォーターPPP導入」について</p> <p>市は、3月に「多賀城市新水道ビジョン」を改定した。その中の「施策目標実現の取り組み」の一つとして、「ウォーターPPP導入や包括委託の統合の検討」を掲げている。以下の点を伺う。</p> <p>(1) 水道の「ウォーターPPP導入」が市民にもたらすメリットやデメリットについて検証しているのか。また、どんな形態でいつまでに契約をする計画なのか伺う。</p> <p>(2) 宮城県の水道コンセッション（みやぎ型管理運営方式【レベル4】）について市の見解を問う。</p> <p>2 市民プール移転後の土地利用について</p> <p>市民プールの移転計画が進められている。移転後の土地利用について伺う。</p> <p>(1) 移転後の跡地の活用についての計画があれば伺いたい</p> <p>(2) 集会所や投票所、防災拠点の機能を持つ地域コミュニティセンターのようなものを設置し、市民が活用できるようにしていただきたいがいかがか。</p> <p>3 学校の断熱化と体育館のエアコン設置について</p> <p>地球温暖化による気温上昇が止まらない。これから夏にかけて猛暑が見込まれる。学校の断熱化と体育館のエアコン設置を計画的に進める必要があると考える。以下伺う。</p> <p>(1) 前回までの回答で「普通教室の断熱化については、大規模改修時に行う」とあるが、児童・生徒、教職員の命と健康を考えると計画的に実施することが大切と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 国は、学校の体育館のエアコン設置に交付金を設けて導入を促している。教育や福祉、そして防災の観点からも取り組むべき最優先の課題の一つと考えるがいかがか。</p>					

質問順 8番	受付月日	6. 9	通告者	13番 種別	根本朝栄 一問一答
<p>1 市営住宅の保証人撤廃について</p> <p>市営住宅の保証人制度について、国土交通省は2018年3月及び2020年2月の通知において「公営住宅への入居に際し、保証人の確保を前提とすべきではない」との考え方を全国自治体へ示しています。令和3年第一回定例会の一般質問で、国の方針に従い保証人を撤廃するよう質問いたしました。市長は、「社会情勢の変化を見据えながら調整を図ります」と答弁されています。答弁から5年以上経過していますが、市営住宅の保証人撤廃についてどのような検討をされてきたのか伺います。</p> <p>また、国が保証人廃止を促していることについて、本市はどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>2 山王地区公民館にエレベーターの設置について</p> <p>山王地区公民館は昭和54年7月に開館され、市民の皆様の生涯学習推進の拠点として運営されてきました。3階建ての公民館は、開館当初からエレベーターは設置されておらず、らせん状のスロープを歩いて上の階へ移動するようになっています。</p> <p>当時は高齢化社会を想定し、車いすでも通れるよう長いらせん状のスロープを採用したのと考えられます。しかし、超高齢化社会を迎えた今日においては、高齢者や障がい者の皆様がスロープを使って2階及び3階へ移動するのは大変困難であり、エレベーターを設置してほしいとの多くの声をいただいております。</p> <p>多賀城市公共施設等総合管理計画との整合性もありますが、高齢者及び障がい者の皆様の声に配慮するとともに、生涯学習の更なる推進と利用促進のため「エレベーターの設置」を優先して検討してはいかがでしょうか。</p>					

質問順 9番	受付月日	6. 8	通告者	11番 種別	阿部正幸 一問一答
<p>1 学校行事や部活動等の遠征における安全な輸送体制について</p>					
<p>令和8年5月6日福島県の磐越自動車道において、高校生を乗せたマイクロバスによる重大事故が発生し、尊い命が失われ多くの生徒が負傷する痛ましい結果となりました。</p>					
<p>近年は全国的な運転手不足や輸送コストの上昇により、学校や保護者の負担が増加しています。しかし子どもたちの生命と安全は何よりも優先させなければなりません。</p>					
<p>そこで本市の現状について以下4点について伺います。</p>					
<p>(1) 市内の小中学校において、修学旅行や部活動遠征などでバス等を利用する際の安全確認はどのように行われているのか。</p> <p>(2) 運送事業者の選定にあたり、許可の有無や安全管理体制などについて、教育委員会ではどのような基準を設けているのか。</p> <p>(3) 近年の物価高騰や人件費上昇に伴い輸送費の負担が増加していますが、安全確保の予算についてどのように認識しているのか。</p> <p>(4) 保護者負担の軽減と安全な輸送体制の両立を図るため、今後どのような支援策を検討しているのか</p>					
<p>2 防犯カメラの増設について</p>					
<p>全国的に犯罪の多様化が進む中、市民の安全・安心に対する関心は高まっています。</p>					
<p>防犯カメラは、犯罪の抑止効果だけでなく、事件や事故が発生した際の早期解決に役立つ重要な設備として広く認識されています。</p>					
<p>そこで以下4点について伺います。</p>					
<p>(1) 現在、本市における防犯カメラの設置状況について</p> <p>(2) 防犯カメラの設置効果について</p> <p>(3) 防犯カメラ増設の必要性について</p> <p>(4) 防犯カメラの設置に伴う助成金創設について</p>					
<p>3 認知症高齢者の見守りや「はいかい」対策を目的とした顔認証技術活用アプリの導入について</p>					
<p>本市における認知症対策について以下2点について伺います。</p>					
<p>(1) 高齢者はいかいSOSや認知症高齢者等見守りシール活用事業、および認知症サポーター養成講座など、本市の取り組み課題について</p> <p>(2) 顔認証技術活用アプリの導入の必要性について</p>					

質問順 10番	受付月日	6. 5	通告者	7番 種別	千葉文昭 一問一答
<p>1 上下水道の官民連携（ウォーター PPP）導入について 国はウォーター PPP を強く推進しており、全国的な流れになっている。本市においても導入を前提とした本格的な検討段階に入っているようであるが、</p> <p>(1) 導入を進める理由とメリット、デメリットについて伺う。</p> <p>(2) どの業務範囲まで民間活用を想定しているのか。また市として引き続き保持すべき機能・役割は何か伺う。</p> <p>2 宮城オルレ多賀城コースについて オープンから7カ月が経過したオルレ多賀城コースについて、これまでの成果と評価、及び今後の方向性について伺う。</p>					